

伊丹の戦略はこれだ！ ～伊丹の地方創生～

■地方が特色を出す時代！

「地方創生」。昨今メディアなどでよく見聞するキーワードではないでしょうか。国では現在、「地方創生」の掛け声のもと、“全国横並びではなく地方それぞれの特色を活かした地域活性化を！”と旗を振っています。各自自治体で「人口ビジョン」「総合戦略」の策定が義務付けられ、伊丹市でも昨年度に「伊丹創生総合戦略」を策定しました。議会も特別委員会（専門に議論するチーム）を設置して議論を重ねました。

■伊丹市の戦略はこれだ！

伊丹の特色や良さは何か？ それを活かして市が成長する戦略は
いかに？ 議論を重ねて誕生した「伊丹創生総合戦略」。内容は下記。

1. 安全安心 ～さらなる安全・安心を実現するまち～

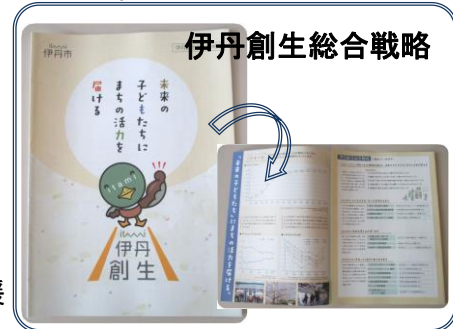
- ①安全・安心見守り e.g.市内1000台の見守りカメラ&ビーコン設置
- ②安全な自転車利用推進 e.g.安全利用啓発指導員の配置・路上駐輪ラックや駐輪場の整備・自転車安全教室の実施
- ③健康長寿 e.g.健康づくり運動の推進・地域医療介護の推進
- ④災害に強いまちづくり e.g.内外水ハザードマップ作成・防災士支援

2. 子育て教育 ～未来を担う人が育つまち～

- ①結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策 e.g.市立伊丹病院の産科充実・保育所等の整備・子育てアプリの運営・病児保育の充実
- ②特色ある教育 e.g.コミュニティスクールの設置・学力向上の諸事業・土曜学習の実施
- ③地域への愛着増進 e.g.地域ビジョンの策定・地域総括交付金の推進

3. にぎわい活力 ～にぎわいと活力にあふれるまち～

- ①まちなにぎわいづくり e.g.地域通貨(いたみんポイント)の普及支援・地域イベント活動の支援
- ②シティプロモーション e.g.タバコポイ捨て防止等の活動・情報の戦略的発信・いたみブランドの発掘支援
- ③住宅・住環境整備 e.g.三世同居等の推進
- ④インバウンド対応 e.g.観光情報の提供発信・PR事業
- ⑤都市農業推進 e.g.農産物のブランド化と販路拡大
- ⑥しごと創造 e.g.企業立地の支援・コミュニティビジネスの支援
- ⑦空港を活かしたまちづくり e.g.空港運営会社との連携・神津地区の活性化推進



伊丹市では、もちろん全ての施策を大切にしますが、特に「安全安心」「子育て教育」「にぎわい活力」の3本柱について、国の交付金等も活用しながら重点的に取り組みます。そして私たちの伊丹を「住みたい街・住み続けたい街ナンバー1」へと成長させてまいります。

市議会トピックス1 初めての議会報告会を開催！

5月15日(日)、「第1回 伊丹市議会 議会報告会」を実施しました。

これは「市民に開かれた議会」を目指し、議員個人や政党ではなく市議会として実施する報告会。伊丹市議会での初の試みです。昨年「伊丹市議会基本条例」を策定し、報告会の実施を決定してから約1年。全議員28名が一丸となって議論を重ね、準備に取り組んできました。直前には全議員で駅前での案内チラシ配布も。

当日は2ヶ所実施で合計63名が集まってくださいました。前半は、H28年度予算についてご報告。後半は、報告を受けての質疑応答。質疑では「市内に千台設置予定の見守りカメラについて(監視では?等)」「市バスについて(ダイヤ改正は?等)」「市高について(活性化策は?等)」「福祉関係費の増加について(高齢者対策は?等)」「伊丹空港について(騒音対策は?等)」などの発言を頂戴しました。真摯に答えさせていただいたつもりです。

議長として、第1回を必ず成功させたい！と準備や調整に奔走。無事に終了できて正直ホッとしています。今後は正念場。今回の課題を検証し、より充実した第2回に向けて取り組んでまいります。「市民に開かれた議会」を目指して！



市議会トピックス2 熊本へ義援金を送付！

このたびの熊本を中心とした地震被害に対して、伊丹市議会として義援金をお送りしました。

決して高額ではなく、また義援金を出せば済む問題ではないことも重々承知しておりますが、せめてもの心をとの想いです。一日も早い復旧復興を心から願い、義援金はもちろん様々な側面から息の長い支援を続けていきたいと思っております。

金額：30万円（①議員互助会から…5千円×28名＝14万円 ②議員有志から…16万円）

搬出先：九州市議会議長会

議長の公務あれこれ

■ 神津の交流拠点がオープン！ ～神津交流センター開所式～

5月6日(金)、「神津交流センター」の開所式が行われました。神津地域の、交流センター・児童館・神津支所・図書館が一体となった施設です。

当館の1つ目の魅力は、多世代が交流できること。小学校・こども園・高齢者施設が隣接しており連携して交流できます。その様子を想像するとワクワクします。2つ目の魅力は、地域が運営すること。地域のNPO団体「わくわくステーション神津」が指定管理で運営していただきます。地域密着の活動が期待できます。個人的には、図書館があるのも魅力。特に子どもたちが気軽に足を運び、本に親しんでくれれば嬉しい限りです。

神津交流センターが、神津地域のすべての人の交流の拠点として活性化することを願ってやみません。



■ 日本酒を学んで飲んで！ ～清酒日本酒発祥の地イベント・全国日本酒チャリティー試飲会～

5月22日(日)、伊丹で日本酒イベントが開催されました。午前は「清酒・日本酒発祥の地フォーラム」。日本酒発祥の地である島根県出雲市、清酒発祥の地である伊丹市・奈良市の3市で、毎年お酒にちなんだイベントを実施しており、今年は伊丹市で開催。酒蔵で日本酒にまつわる講演が繰り広げられました。

午後は「全国日本酒チャリティー試飲会」。伊丹・出雲・奈良の3市11歳元のお酒はもとより、IWC(インターナショナルワインチャレンジ。世界最大のワイン品評会)「SAKE部門」にエントリーされたお酒(約100銘柄)の大試飲会！参加された250名は、様々な銘柄の日本酒に舌鼓を打っておられました。日本酒を通して街の活性化に繋がればと思います。



■ 全国の市議会議長が大集合！ ～全国市議会議長会～

5月31日(火)、「全国市議会議長会」総会 in東京国際フォーラムに出席しました。当会は全国の市議会議長で構成され、地方の想いを結集して強力な声にし、国などに届ける活動をしています。この日は全国819市の市議会議長が集合しました。

当会の国等への要望事項、今年度は下記4本柱です。①地方創生の推進(左ページにも記載した地方創生、国は金額的な支援を!)、②地方財源の充実確保 ③熊本地震からの復旧・復興、④東日本大震災からの復旧・復興。その他、部会別の要望が25本。国は、東京一極集中と人口減少の対策として、地方創生を旗振りしています。もちろん我々も地元活性化に尽力しますが、国には財源や人材もお願いしたい。全国市議会議長会で地方が団結して声を上げる役割と意義を活かしていきたいと思っています。



「フォーラム伊丹通信 プラス」誕生！

相崎が所属する会派「フォーラム伊丹」※では、平素から市民の方々に議員活動などを報告してお声を頂戴し、よりよい伊丹づくりを進めたいと考え、会派の広報紙「フォーラム伊丹通信」を月1回発行しています。

※会派：想いや方向性を一にする議員で結成する議会内のグループ。「フォーラム伊丹」は市議28名中8名が属する単独最大会派。メンバーは川上・泊・桜井・西村・保田・山藪・大津留・相崎そしてこのたび「もっとお伝えしたい」との想いが募り、通信をパワーアップ！「フォーラム伊丹通信 プラス」を発行しました。

これからは通常版に加えて拡大版の「プラス」も随時発行し、ポスティングや駅前配布(同時にマイクリレーも実施)にてお届けします。

お目通しいただき、お声をいただければ嬉しい限りです。



「サワコの茶話会」第14回



気軽な雰囲気で見聞交換する「サワコの茶話会」。
気軽にお越しいただき、普段感じていることとお話ください！



- 日時：平成28年9月10日(土) 14:00～16:00
- 場所：いたみホール 3階 大会議室
- 人数：20名程度
- 内容：議長の仕事・市政の状況など
- 申込：名前&連絡先を、メール・電話・ファックスでお知らせください(連絡先は裏面)
- ※飛び込みのご参加もOKですが、人数把握のため事前連絡いただけるとありがたいです
- ※託児はありませんがお子様連れ大歓迎です！